



なかやま しゅういち

中山 秀一

担当 経営企画課 デジタル開発室
お客様係



11月に入り、いよいよ「冬到来」というような寒さを感じる時期になりました。冬を感じ始めると1年の終盤戦、今年もあと何日だろう、と指折り数えることも多くなってきます。新型コロナもさることながら、風邪などひかぬように過ごしてまいりましょう。

さて、この時期になってくると「ああ、今年も行く機会がなかったなあ」と思い返すことがあります。実はミュージカルが大好きで、都内で仕事をしていて20代のころにはお金もない中、小さな劇場での知る人ぞ知る劇団の舞台などをよく観劇していました。

きっかけは中学の頃からファンだったある作家がミュージカルの舞台も手がけていたこと。社会人になった頃に参加していたその作家主催のコミュニティで勧められて初めて観た舞台ですっかり魅了されました。演じられる内容もさることながら、目の前で生身の人間が演じる息遣いや足音、飛び散る汗、力強く発せられる声。そしてその最初に観た舞台で主演を務めていた二名の圧倒的な歌唱力。舞台に近い場所だと、マイクを通さない生の声も感じられます。この「見せる人」と「見る人」が同じ空間を共有している感覚に心を掴まれました。

結婚後も夫婦で何度か観に行く機会にはありましたが、コロナ禍もあってこの数年は特に縁遠くなってしまいました。来年こそは久々に、生の舞台からパワーをもらう機会を作りたいな、と思っております。大きな舞台もいいものですが、皆様もぜひ、小さな劇場で、前から3列目くらいまでの席で体感されることをお勧めします。